

平成 26 年度 第 3 回今宮工科高等学校・学校協議会（議事録）

日 時：平成 27 年 3 月 4 日（水） 11：00～12：30

場 所：本校 体育館

参加者：

<協議委員>（敬称略）

関西福祉科学大学	伊藤 一雄（欠席）
今工会（同窓会）長	峯山 昭範
パソニック エコソリューションズ カレッジ	小多田正美
萩之茶屋社会福祉協議会	田中 康夫
萩之茶屋小学校長	枝元 哲（欠席）
今宮中学長	堀端 和彦（欠席）
PTA 会長	勝元 尚子

本校では 3 年の授業「課題研究」において、生徒たちが興味関心に応じて課題を創造し、年間を通して研究を進めています。1 月に機械、電気、建築、グラフィックデザインの各専門系別に課題研究発表会を行い、その中から特に選ばれたものを集めて、3 月に「課題研究成果発表会」を実施しました。学校協議会委員も加えた多数の来賓の皆様にも、本発表会をご覧いただいています。

- 1 校長挨拶
- 2 来賓紹介
- 3 発表
  - 機械系「エコデンカー」
  - 電気系「電験 3 種への挑戦とプラネタリウムの制作」
  - 建築系「こどもけんちくごっこの企画・開発」
  - グラフィックデザイン系「After Effects を使ったビジュアルノベル風動画制作」
- 4 講評（来賓）
- 5 表彰

学校協議会委員等からのコメント（抜粋）

○機械系「エコデンカー」

- ・一から車を作り上げて、しかも低コストですばらしいと思います。また、来年度も次の学年に引き継いで欲しいです。
- ・納期や目標も明確でよかったと思います。1、2 年生に引き継いでもらいたいです。
- ・材料の選定から加工組立までハイレベルでやり遂げられており、感心しました。生徒らが生き生きと立派に成長されており、素晴らしい教育課題であると思います。
- ・試行錯誤を積み重ねた点が高く評価できる。より高いレベルをめざすコンテストに参加するという課題設定がよかった。
- ・座学や実習で学んだことを生かし、さらに新しい技術の習得に取り組んだ素晴らしい発表でした。また、予算などに目を向けさせる発表もよかったと思います。

#### ○電気系「電験3種への挑戦とプラネタリウムの制作」

- ・本格的なプラネタリウムを安価で手作りで作り上げたのはすごいです。もっと大きなホールで投影してほしいです。
- ・非常に素晴らしかったと思います。目を閉じている最中に音楽を鳴らすなど、「発表」の準備をしっかりとされていて、感心しました。
- ・レンズ式やピンホール式など様々な方法でプラネタリウムを納得できるまで制作されており、素晴らしかったです。レンズも自作し、メーカー製との性能比較も大変興味深いものでした。
- ・いくつかの方式を比較検討している点がよかった。より高いレベルをめざす目標があれば、なお良かった。
- ・多くの方がロマンを感じるプラネタリウムに取り組んだことが技術者として素晴らしいと思います。ジャンク品を用いるなど予算を考えての取組みも良いと感じました。また、発表での実演も良かったです。できれば、製作物をどこで活用したかなどの実例があれば、なお良かったと思います。

#### ○建築系「こどもけんちくごっこの企画・開発」

- ・学校外との連携があり、商品化の可能性のあるのは、よいと思う。あとは耐久性があればなおいいと思います。
- ・昨年も拝見しました。それを発展させてよかったと思います。次年度も期待したいです。
- ・企業との交流から完成度の高い商品を提案されており、感心しました。園児の気持ちを理解したいい作品だったと思います。力学的な強度も評価されていれば完璧でした。
- ・子供を対象とした実用的なものを課題として選定したことが、高く評価できる。研究の進め方およびプレゼンが優れている。
- ・企業や保育所と連携して行っている点が非常に良いと思います。また、利用者の視点を考えている点もよいと思います。技術は技術力が高いや優れたものを制作できることはもちろん大切ですが、「誰かを笑顔にする」「誰かを幸せにする」これが技術にとって大切な点だと思いますので、非常に良い発表だと感じました。

#### ○グラフィックデザイン系「AfterEffectsを使ったビジュアルノベル風動画制作」

- ・一人の発表でしたが堂々とした発表だと思います。一人ながら反省点や下級生への提言もできていたと思います。
- ・一人で大変だったと思います。今後も制作を続けてください。
- ・さまざまな汎用ソフトを使って、レベルの高い動画を制作されており、素晴らしかったです。大変勉強になりました。同じ関心を持つ仲間と一緒に発展できれば、なお素晴らしいと思います。
- ・プレゼン能力が非常に高い。ソフトの説明ではなく、開発方法や工夫点など研究面の説明がほしかった。
- ・最新のクリエイティブツールをたくさん用いて、一人で作品を制作するというのは、大変なことだと思いますが、課題研究の時間だけでなく、技術力向上に視点を置いて、取り組んでいる発表が非常に良かったです。